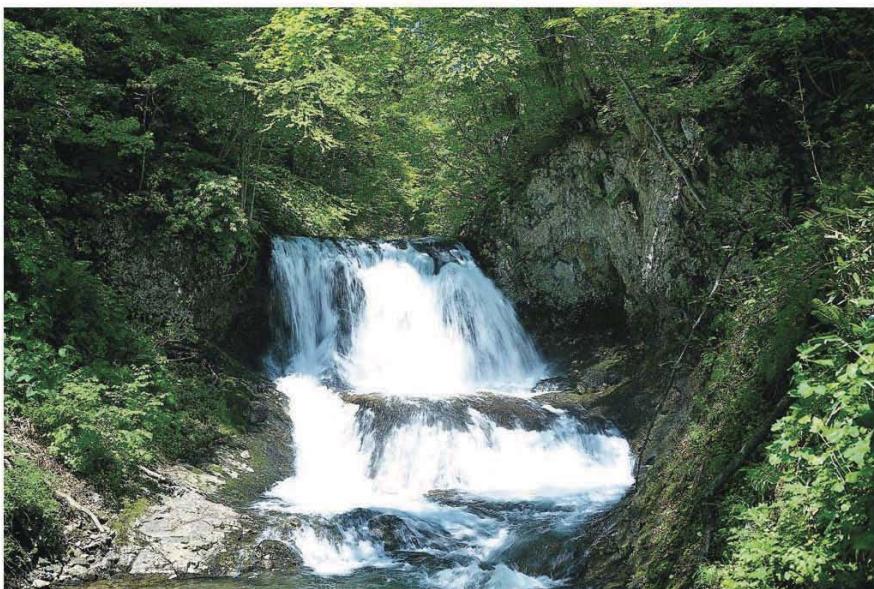




# 協会ニュース No.28

平成22年8月12日発行

誠 正 公  
実 大 益



きれいな水を未来に残そう

熊本県知事指定検査機関

公益社団法人 熊本県浄化槽協会

## 浄化槽法事務・権限移譲市町村について

前号でもお知らせいたしておりますが、平成22年4月1日までに権限移譲されている市町村は以下のとおりです。設置届出書をご提出になる場合は権限移譲市町村用（ブルーの表紙）の届出用紙をご使用いただくことになりますのでご注意ください。

平成22年4月1日までに権限移譲された市町村

人吉市・山鹿市・宇土市・大津町・菊陽町・御船町・嘉島町・益城町・甲佐町・山都町・水川町・芦北町・津奈木町・錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村・あさぎり町・合志市・南小国町・小国町・産山村・高森町・南阿蘇村・西原村・玉東町・和水町・南関町・長洲町

○権限移譲市町村の設置届出書（ブルーの表紙）の提出方法

1. 建築確認が不要な場合

**7条検査料金払い込み→検査依頼書と一緒に設置場所の市町村へ提出**

2. 建築確認が必要な場合（提出方法は権限移譲前と同じ）

**7条検査料金払い込み→検査依頼書と一緒に設置場所の保健所または協会窓口へ提出→建築主事へ提出**

## 平成22年度 水環境保全助成事業の追加募集のお知らせ

当協会では、浄化槽の普及啓発及び地域における水環境の保全に関する周知啓発等を行う個人または団体に対し活動費の一部を助成する活動を行っております。

本年度におきましては、助成予算に若干の余裕が御座いますので今回標記内容の追加募集を行います。

詳しい内容は、当協会ホームページ（<http://johkasou.jp/>）の『平成22年度 水環境保全助成事業募集要項』をご覧下さい。

なお、追加の応募期間は平成22年8月5日（木）から平成22年9月15日（水）までとなっております。

## 編集後記

5月25日に開催されました第1回定時社員総会では、会員の皆様にご協力いただき滞りなく開会することができました。お忙しい中ご出席いただきました皆様に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

今号は、総会・臨時総会の内容を中心に掲載いたしました。ご一読いただければ幸いです。

また、前号のアンケートにご回答いただきました皆様、ありがとうございました。今号にも同封させていただいておりますので、引き続き気になる点などがございましたらご回答いただきますようよろしくお願い申し上げます。

次号は、1月頃の発行予定です。



総務常任委員会

発行日	平成22年8月12日
発行	公益社団法人 熊本県浄化槽協会
会長	島田 好久
〒	861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227番地86 (嘉島リバゾン内)
TEL	(096)284-3355 FAX (096)284-3388
	<a href="http://johkasou.jp/">http://johkasou.jp/</a> フリーダイヤル0120-159-280



## 熊本方式に於けるBOD検査の周期について

### 1 検査方法

50人槽以下の浄化槽について、以下の検査を5年周期で組み合わせて行います。

	外 観 年	水 質 年
検査周期	5年に1回実施	5年に4回実施
検査項目	1. 外観検査（全75項目） 2. BODを含まない水質検査 3. 書類検査	1. 外観検査（重要15項目） 2. BODを含む水質検査 3. 書類検査

※51人槽以上の浄化槽については、環境省が示した基本方式により毎年1回外観検査、書類検査及びBODを含む水質検査を行います。

### 2 BOD地区周期表

地 区	周 期				
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
熊本	旧熊本市	水質年	外観年	水質年	水質年
	旧天明町・旧富合・城南町	水質年	水質年	外観年	水質年
	旧飽田町・旧植木町	水質年	水質年	水質年	外観年
	旧河内町	水質年	水質年	水質年	水質年
	旧北部町	外観年	水質年	水質年	水質年
有明	荒尾市、玉名市(旧玉名市)	水質年	水質年	水質年	外観年
	玉名市(旧岱明・天水・横島町)、玉東町・南関町・長洲町・和水町	外観年	水質年	水質年	水質年
山鹿	山鹿市(旧山鹿市・鹿本・鹿北・菊鹿町)	水質年	水質年	外観年	水質年
	山鹿市(旧鹿央町)	水質年	水質年	水質年	外観年
菊池	菊池市・志志市・大津・菊陽町	水質年	外観年	水質年	水質年
阿蘇	阿蘇市、南小国町・小国町・高森町・産山村・西原村・南阿蘇村	水質年	外観年	水質年	水質年
御船	御船町・甲佐町・山都町(旧矢部町・清和村)	水質年	水質年	水質年	外観年
	山都町(旧蘇陽町)	水質年	外観年	水質年	水質年
	嘉島町・益城町	外観年	水質年	水質年	水質年
宇城	宇城市(旧松橋・小川・豊野町)、美里町	水質年	外観年	水質年	水質年
	宇土市、宇城市(旧三角・不知火町)	水質年	水質年	外観年	水質年
八代	八代市 第3・8中学校区	水質年	外観年	水質年	水質年
	第5・6・日奈久・二見中学校区	水質年	水質年	外観年	水質年
	第1・7中学校区	水質年	水質年	水質年	外観年
	第2・4中学校区	水質年	水質年	水質年	外観年
	八代市(旧鏡・千丁町・旧坂本・東陽・泉村)、氷川町	外観年	水質年	水質年	水質年
水俣	水俣市	水質年	外観年	水質年	水質年
	芦北町・津奈木町	水質年	水質年	外観年	水質年
人吉	人吉市	水質年	水質年	水質年	外観年
	鍋町・多良木町・湯前町・あさぎり町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村	水質年	水質年	水質年	外観年
天草	天草市(旧本渡市)	水質年	外観年	水質年	水質年
	天草市(旧天草・河浦町)、茶北町	水質年	水質年	外観年	水質年
	上天草市(旧姫戸・龍ヶ岳町)、天草市(旧五和・新和町)	水質年	水質年	水質年	外観年
	上天草市(旧大矢野町)、天草市(旧有明・倉岳・柄本・御所浦町)	水質年	水質年	水質年	外観年
	上天草市(旧松島町)、天草市(旧牛深市)	外観年	水質年	水質年	水質年

(検査は毎年実施しますが、外観年では50人槽以下の浄化槽についてBOD検査を省略します。)

## 第24回全国浄化槽技術研究集会の開催について

本研究集会は、浄化槽に関する技術の向上と適正な普及促進を図ることを目的に、昭和62年より「浄化槽の日(10月1日)」の関連行事として、毎年開催されています。

全国から浄化槽技術研究会会員、大学・研究機関の浄化槽研究者、浄化槽行政担当者、県・市町村の議会議員、浄化槽関係業界、住民が集い、一堂に会して浄化槽に関する研究発表・事例発表およびシンポジウムなどを通して最新の情報を提供し、意見交換することは、水環境の保全に寄与し、快適な生活環境を創造する一助として期待されています。

なお、法定検査の向上を図るため、平成2年から浄化槽検査員等を対象に新しい処理技術の導入に応じた検査技術などの研鑽を行う専門的な会を実施し、また、平成14年からは研究発表会を開催し、発表された課題のうちから優秀と認められる課題に対し研究奨励金を贈呈することとしています。

今年度は長野県で以下のとおり開催されます。当協会からも出席する予定です。

開催期間 平成22年10月19日(火)～20日(水)

- 1)平成22年10月19日(火) 浄化槽検査員研究会
- 2)平成22年10月19日(火) 第32回浄化槽行政担当者研究会(併催)
- 3)平成22年10月20日(水) 研究発表会
- 4)平成22年10月20日(水) 全国浄化槽技術研究集会

開催場所 「ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)」長野県長野市若里一丁目1番3号

主 催 財団法人日本環境整備教育センター

### 新規入会事業所紹介(平成22年3月～平成22年6月)

(敬称略)

入会日	所属支部名	会社名	代表者名	部会名
平成22年5月7日	天草	協業組合 本渡清掃公社	川峰 一	維持管理

### おくやみ

去る平成22年4月29日当協会第三代会長紫垣勇蔵氏が89歳でご逝去されました。当協会では昭和55年から平成8年までの永きに亘り会長をお務め頂きました。ここに生前のご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

**2) 検査手数料の返還等**

平成22年7月末現在で検査時期超過浄化槽123基のうち115基について、また未設置浄化槽497基のうち414基について、それぞれ検査手数料の返還を完了しました。

引き続き文書・電話連絡、戸別訪問を実施し100%の返還を目指します。

**3) 検査手数料返還後の11条検査**

11条検査は、浄化槽の機能が正常に発揮されているか否かの検査であることを浄化槽管理者に丁寧に説明し、ご理解を頂いた上で検査を実施します。なお、検査は7条検査の項目を含む内容を実施します。

平成22年7月末現在で対象浄化槽132基のうち88基(検査拒否含む)について検査等を完了しました。

引き続き戸別訪問などを通して受検案内を行い、100%の検査を目指します。

**2. 再発防止策****①7条検査専門部署の新設**

7条検査に関する業務を一括管理する体制を整備し、適確な検査の実施及び設置中止等による検査手数料の返還等業務を確実に行い、浄化槽管理者の7条検査体制に対する信頼の確保に努めます。平成22年7月1日に設置しました。

**②チェック体制の強化**

担当職員以外の第3者によるチェック体制を整備しミスの防止に努めます。

**③検査計画作成時における情報支援**

適確な検査計画を作成するために検査システムを改善するとともに7条検査専門部署以外の総務担当部署から、一定月経過後の検査未実施浄化槽のデータを定期的に7条検査専門部署へ提供します。

**④現場調査及び確認等の徹底**

検査員が行う現場調査及び事務職員が行う設置者への電話確認、文書通知による設置状況及び使用開始状況の確認のための連絡を継続的に実施するようシステムを改善し実行を徹底します。

**⑤受付及び検査実施状況に関する管理表の作成**

7条検査の受付状況、検査の実施状況等が月別、年度別に適確に把握できるよう検査システムの改善を行います。

**⑥職員教育の徹底**

7条検査の検査手数料前納制や業務マニュアル等の理解を徹底するとともに法令順守の意識を高めるために、全職員を対象に定期的な職員研修を実施します。

平成22年8月2日

公益社団法人 熊本県浄化槽協会

会長 烏田好久

## 浄化槽法第7条検査に関する諸問題の経緯及び 対応状況等について（報告）

公益社団法人熊本県浄化槽協会（以下「当協会」という。）は、昭和61年3月から浄化槽法第57条に基づく指定検査機関として熊本県から指定を受け、浄化槽の法定検査（法第7条及び法第11条に基づく水質検査（以下「7条検査」及び「11条検査」という。））を実施して参りました。

このたび、7条検査に関する検査手数料の前納制の取扱い等について当協会の平成21年度定期監査において「7条検査未実施浄化槽分については速やかに浄化槽管理者（設置者）に対し、検査依頼の際に前納された検査手数料の返還を行うこと。」の趣旨の指示がありました。

これを受け当協会では、昭和63年度から平成20年度を対象に7条検査未実施浄化槽及び検査手数料の返還対象浄化槽基数の実態調査を行いました。その結果、検査手数料の返還が必要な浄化槽基数は、法に定める期間内に検査が実施できていない浄化槽（以下「検査時期超過浄化槽」という。）分が123基、設置取下げ、下水道接続、重複申し込みなどのために設置が中止された浄化槽（以下「未設置浄化槽」という。）分が497基あることが判明しました。

当協会では、この調査結果を熊本県及び当協会理事会へ報告し必要な対応措置について協議を進めるとともに、併行して当協会内に役職員からなるプロジェクトチームを発足させ検査手数料の返還作業及び検査マニュアルの改正等を進めて参りました。

一方、平成22年5月11日に熊本県から立入検査を受け、事案発生の経緯及びこれまでの対応等について詳細な検証が行われ、次の3点が指摘されました。

- ① 浄化槽法第7条の水質に関する検査料の返還にあたっては、可及的速やかに処理すること。
- ② 浄化槽法第7条の水質に関する検査料の返還手続きにあたっては、返金後の浄化槽法第11条の水質に関する検査受檢への移行を含め、浄化槽管理者の納得を得られるよう努めること。
- ③ 浄化槽法第7条の水質に関する検査料に関して、貴法人における事務遺漏による返還事案発生の再発防止に努めること。

当協会としましては、これらの指摘事項を真摯に受け止め検査手数料の返還業務を更に加速させるとともに7条検査専門部署の新設、事務処理及び検査実施等における検査マニュアルの改善などの再発防止策に全力で取り組む旨、熊本県に対し回答しました。

ここにこのような事案を発生させ浄化槽管理者（設置者）の皆様方に多大なるご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、当協会がこれまでに講じてまいりました措置状況及び今後の再発防止策等について、下記のとおりご報告いたします。

**記****1. 措置状況等****1) 事案発生の要因**

検査時期超過浄化槽分については、現場調査による設置場所、使用状況の確認不足及び業務引継の不徹底あるいはその後の継続的な現場調査がなされなかつたことのほか、検査手数料前納制についての理解不足や、法令順守の重要性に対する認識不足等によるものと考えます。

未設置浄化槽分については、電話、文書通知、現場調査などによる浄化槽の未設置状況の確認等が継続的且つ粘り強く実施されなかつたことによるものと考えます。

## 平成22年度浄化槽設置基数等実態調査業務(熊本県委託)について

この事業は、熊本県が緊急雇用創出事業として「浄化槽設置基数等実態調査」を実施するものである。当該事業については、当浄化槽協会が熊本県から業務を委託され実施する。

### 1 事業の目的

生活排水処理施策を進めるうえでの基礎的なデータとして、また、法定検査受検率の向上を図り浄化槽の適正な維持管理を確保するため、県内の浄化槽設置基数等の実態を調査し、把握することを目的とする。

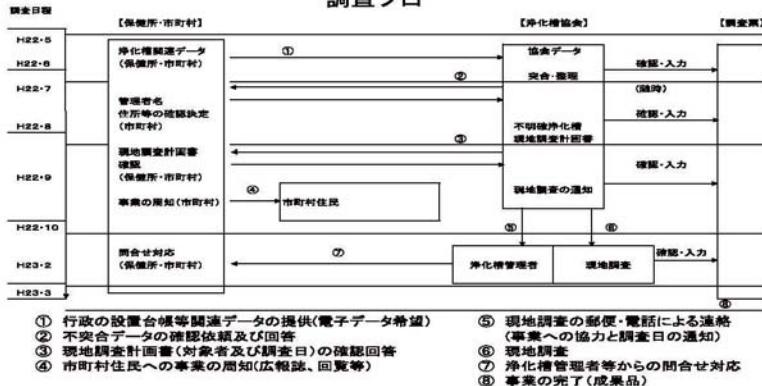
### 2 調査内容

- ① 県、市町村及び関係機関が把握している浄化槽設置に係るデータを突合・整理し、調査票に入力。
- ② 不突合データ箇所等について浄化槽協会が現地調査を行う。
- ③ 現地調査を行い浄化槽の設置の有無(単独、合併の判別も含む)確認等を行い、調査票に入力。
- ④ 現地で浄化槽管理者に対し、法定検査についての普及啓発を行い、受検を促す。

### 3 平成22年度調査対象地域(18市町村)

保健所	市町村	保健所	市町村	保健所	市町村
有明保健所	玉名市	阿蘇保健所	阿蘇市	宇城市	宇城市
	玉東町		南小国町		美里町
	和水町		小国町		八代町
	南闇町		産山村		氷川町
菊池保健所	合志市	御船保健所	御船町	水俣市	水俣市
	大津町		嘉島町		津奈木町
	菊陽町		天草保健所		天草市
宇城保健所	宇土市			芳北町	

### 調査フロー





**1 公益目的事業**

- 1) 法定検査事業の推進
  - ① 法定検査の実施状況
  - ② 法定検査に係る機器整備
- 2) 受検勧奨対策業務
  - ① 維持管理業界との協力体制の構築及び推進
  - ② 未受検者対策
  - ③ 未収金対策
  - ④ 不適正浄化槽対策
  - ⑤ 無管理、無清掃浄化槽対策
- 3) 法定検査推進事業関連業務
  - ① 支部組織の活性化
  - ② 地域（保健所別）連絡会議の開催
  - ③ 浄化槽設置者講習会の開催
  - ④ 水環境保全活動への支援事業
  - ⑤ 設置者への周知啓発の充実
  - ⑥ 協会会報等の発行
  - ⑦ 各種イベントへの参加
  - ⑧ ホームページの運用及び充実
  - ⑨ 施工、保守点検及び清掃業者技術講習会

**2 収益事業等**

- 1) 浄化槽機能保証制度推進事業
- 2) 浄化槽管理士講習及び浄化槽技術管理者講習会事業
  - ① 浄化槽管理士講習
  - ② 浄化槽技術管理者講習会
- 3) 物品等販売事業
- 4) 浄化槽放流水等の計量証明事業
- 5) 浄化槽設置基数等実態調査事業
- 6) 理事会及び各種委員会等の活性化事業
- 7) 浄化槽の製造、施工及び維持管理の適正化業務
  - ① 国、県及び県議会等への要望
- 8) 浄化槽設置台帳管理業務
- 9) 浄化槽検査員研修会及び研究集会等業務
  - ① 職員研修の充実
  - ② 検査員の技術研修
- 10) 公益社団法人への移行
- 11) 顕彰及び表彰事業

**平成21年度法定検査実施基数(平成20年度対比)**

保健所名	7条検査		11条検査	
	20年度実績	21年度実績	20年度実績	21年度実績
熊本市	369	507	3,924	9,458
有 明	464	374	7,406	7,774
山 鹿	221	83	7,390	2,891
菊 池	145	133	2,754	2,818
阿 蘇	426	328	5,136	5,737
御 船	244	279	4,825	5,001
宇 城	347	294	6,531	5,987
八 代	236	385	9,328	9,596
水 俣	189	199	4,512	4,784
人 吉	185	145	4,026	4,166
天 草	469	411	13,323	13,637
合 計	3,295	3,138	69,155	71,849

※熊本市には旧植木町、旧城南町を含んでおります。

**平成21年度水環境保全助成事業実績報告**

水環境保全助成事業により助成を行いました熊本県中小企業家同友会が3月7日に阿蘇郡西原村で植樹を実施されました。

当日は、塚本副会長（当時）が来賓として出席し挨拶のあと、参加者の皆様と一緒に約1000本の苗木を植樹しました。

**役 員**

(任期:平成22年5月25日～平成24年5月)

(敬称略・五十音順)

役職	氏 名	部会名	支部名	事 業 所 名	役職	氏 名	部会名	支部名	事 業 所 名
会 長	島田 好久	維持管理	水俣	循水保淨化槽管理センター	理 事	連川 仁視	製造・施工	天草	連川設備
副会長	野田 義治	製造・施工	八代	飼野田設備	理 事	内藤 雄二	維持管理	阿蘇	飼阿蘇管理センター
副会長	富岡 康一郎	維持管理	菊池	㈲旭総合ベンテナанс	理 事	成瀬 徳晃	製造・施工	御船	㈲成瀬でんき
理 事	内田 幸一郎	維持管理	熊本	㈲旭清掃社	理 事	東田 健一	製造・施工	宇城	㈲大東工業
理 事	内野 静子	維持管理	熊本	㈲アクアサービス	理 事	福島 光悦	維持管理	熊本	㈲光水メンテナンス
理 事	大山 明	製造・施工	人吉	㈲太陽住宅設備	理 事	松岡 修	維持管理	熊本	㈲松岡清掃公社
理 事	甲斐 秀人	製造・施工	熊本	フジクリーン工業㈱	理 事	横山 英生	製造・施工	天草	天草設備㈱
理 事	川野 一人	維持管理	天草	保清衛生㈱	理 事	渡邊 祐二	製造・施工	有明	㈲前田設備工業
理 事	武田 正巳	維持管理	有明	㈲玉名北部環境	理 事	西村 健一	-	-	(公社) 熊本県淨化槽協会
理 事	田中 栄一	製造・施工	山鹿	(資)とらや商會	監 事	岡村 謙一	維持管理	宇城	㈱オカムラ
理 事	柴本 類光	製造・施工	熊本	㈱明誠設備	監 事	村本 征秀	製造・施工	阿蘇	㈲村本設備工業

**退任役員**

平成22年5月25日開催の第1回定期社員総会に於きまして役員改選が行なわれ次の役員の方々が退任されました。これまでのご指導、ご協力に厚く御礼申し上げます。

青木 義樹 氏

(前理事 製造・施工部会 九州ニッコー㈱)

森田 和博 氏

(前理事 製造・施工部会 施工委員長 ㈱森田設備)

篠崎 武 氏

(前理事 維持管理部会 ㈲二角環境)

**平成21年度事業報告**

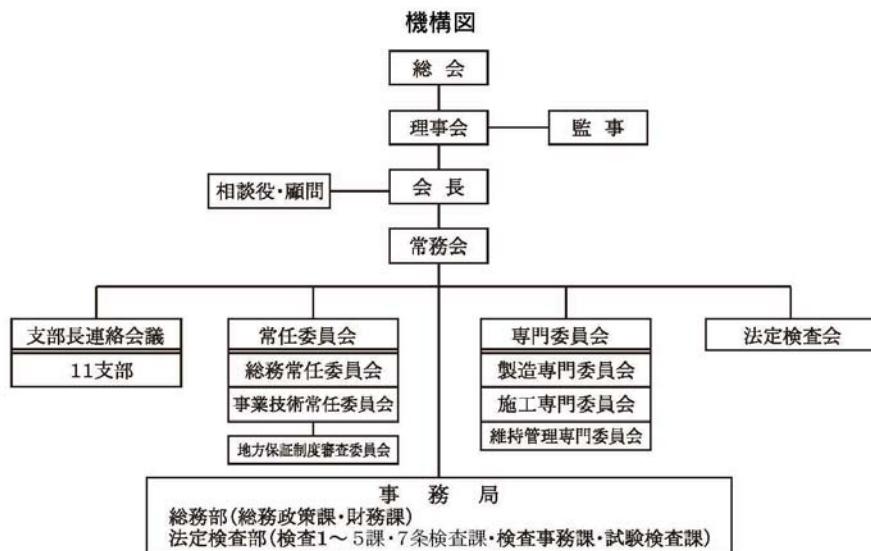
当協会は、設立当初から水環境の保全、公衆衛生の向上を目的に浄化槽の製造、施工及び維持管理の適正化等の公益活動を実施していること。県知事より浄化槽法に基づく指定検査機関の指定を受け公益性の高い法定検査事業を20数年間にわたり実施していること。今後も公益性・信頼性を高め更なる法定検査事業の推進を図り公共用水域の水質保全に貢献すること等を踏まえ、平成21年3月31日県に対して公益社団法人への移行申請を行った。平成21年9月24日熊本県知事より当協会の法定検査事業が公益法人制度改革に伴い実施される新制度での公益法人の基準を満たすとの認定を受け、平成21年10月1日公益社団法人熊本県淨化槽協会として発足した。

法定検査の受検率の向上を図るため県、市町村及び協会との連名による受検勧奨対策を実施するとともに未受検者については県、市町村に月次報告を行い所要の指導等を要請するなど未受検者の減少に努めた。

また、平成21年度は新規事業として水環境保全助成事業を実施し、4団体に助成を行った。この事業は浄化槽の普及啓発および地域における水環境の保全に関する周知啓発活動、研究等を行う個人や団体に対して活動費の一部を助成し、熊本県内の水環境の保全の推進に役立てることを目的とした事業である。

熊本県が生活排水処理施策を進める上での基礎的なデータとして、また法定検査受検率の向上を図り浄化槽の適正な維持管理を確保するため、県内の浄化槽設置基数等の実態調査を行う事業を委託事業として県内18市町村において実施した。平成22年度においても21市町村において実施することとしている。

## 平成22年度 組織運営機構



## 来賓

熊本県副知事  
熊本県議会議長  
熊本県議会建設常任委員長  
熊本県議会厚生常任副委員長  
熊本県議会議員  
熊本市議会議員  
熊本市議会議員  
衆議院議員  
参議院議員  
熊本県土木部下水環境課長  
熊本県土木部下水環境課土木審議員  
熊本県環境生活部水環境課長  
熊本県環境生活部水環境課環境生活審議員  
熊本市環境保全局次長  
熊本市浄化対策課長  
熊本市浄化対策課長補佐  
熊本県管工事業組合連合会 副会長  
熊本県建設産業団体連合会 事務局長  
(社)熊本県建設業協会建築部会 副会長  
熊本県環境整備事業(協) 理事長  
(協)熊本県環境技術協議会 理事長  
熊本県環境保全協会 会長  
熊本県浄化槽管理事業(協) 理事長  
熊本市浄化槽団体連絡協議会 代表幹事  
村田 信一様  
小杉 直様  
重村 栄様  
内野 幸喜様  
倉重 剛様  
古川 泰三様  
満永 寿博様  
野田 稔様(代理)  
木村 仁様(代理)  
西田 浩様  
岡本 陽一様  
田代 裕信様  
其田 年春様  
山田 利博様  
山本 光洋様  
村尾 雄次様  
工藤 光明様  
藤本 進様  
坂口 秀樹様  
島田 好久様  
武田 正巳様  
岡村 謙一様  
内野 静子様  
早川 司様



## 第1回定期社員総会支部別出席状況

支部名	会員数	出席者数	委任状等	計
熊本支部	75	32	34	66
有明支部	20	8	7	15
山鹿支部	8	1	6	7
菊池支部	11	5	5	10
阿蘇支部	16	2	11	13
御船支部	23	13	8	21
宇城支部	32	12	15	27
八代支部	31	8	15	23
水俣支部	17	2	14	16
人吉支部	26	6	17	23
天草支部	51	13	33	46
計	310	102	165	267



## ● 表 彰 ●

平成22年2月17日に熊本県庁に於きまして「平成21年度熊本県環境整備等功労者知事表彰」授賞式が行われました。

平成21年度は次の方々が受賞されました。

有 勲	建 藏 氏(㈲有効設備)
本 藤	ヨシ子 氏(㈲本藤設備)
上 村	ヤスエ 氏(㈲上村商会)
鍛 田	敏 夫 氏(㈲鍛田電設)
内 野	静 子 氏(理事 ㈲アクアサービス)
松 岡	修 氏(理事 ㈲熊本ニシカン)



## 第1回定時社員総会開催報告

平成22年5月25日(火)熊本ホテルキャッスルに於きまして、第1回定時社員総会が開催されました。総会は、冒頭の横山会長の挨拶のあと田中議長により滞りなく進行され、各議案とも承認可決を頂きました。

- 第1号議案 平成21年度事業報告承認について
- 第2号議案 平成21年度決算報告承認について
- 第3号議案 監査報告承認について
- 第4号議案 役員選任について

審議終了後、新役員を代表し島田 好久新会長より就任の挨拶がありました。



## 目 次

ご挨拶	2
表彰／第1回定時社員総会開催報告	3
来賓／第1回定時社員総会支部別出席状況	4
平成22年度組織運営機構／事務局組織図	5
役員／退任役員／平成21年度事業報告	6
平成21年度事業報告(項目)／平成21年度法定検査実施基数(平成20年度対比)／	
平成21年度水環境保全助成事業実績報告	7
平成21年度浄化槽設置基数等実態調査業務(熊本県委託)について／	
平成21年度正味財産増減計算書内訳表	8
臨時総会開催報告／平成22年度事業計画項目／法定検査実施計画	9
平成22年度収支予算書	10
平成22年度浄化槽設置基数等実態調査業務(熊本県委託)について／	
浄化槽機能保証制度について	11
浄化槽法第7条検査に関する諸問題の経緯及び対応状況等について(報告)	12～13
第24回全国浄化槽技術研究集会の開催について／新規入会事業所紹介／おくやみ	14
熊本方式に於けるBOD検査の周期について	15
浄化槽法事務・権限移譲市町村について／平成22年度 水環境保全助成事業の追加募集のお知らせ／	
編集後記	16



## ご 挨 捭

平成22年5月25日に開催されました、第1回定時社員総会におきまして会長の職を仰せつかりました島田好久と申します。

当協会は会員の皆様や歴代会長、役員をはじめとする多くの方々の努力により30数年の長きにわたり活動を続けて参りました。私自身この様な長い歴史と伝統のある団体の長に就任し、責任の重さを痛感しているところで御座います。

現在の浄化槽はこれまでの下水道の補完施設という位置付けではなく、生活排水処理を担う恒久的な柱の一つとして認識され、その役割や期待は益々大きくなっています。

このような中、当協会も平成22年度の事業計画を定め、その実行に向け役職員一丸となって取組んで参る所存で御座います。

さらに、当協会は昨年10月に公益社団法人として新たな歩みを始めており、今後は公益法人としての役割や責務を十分に認識し、業界のみならず県民の皆様にもご理解、ご信頼を頂ける協会となるよう活動して参りたいと存じます。

会員の皆様には、今後とも当協会の発展及び浄化槽の整備促進のため、これまで同様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせて頂きます。

公益社団法人 熊本県浄化槽協会  
会長 島田 好久